

施策番号	5
------	---

施策評価シート（評価対象年度：令和元年度）

基本政策	1	子育て・教育・学び
施策名	5	生涯学習
10年後のまちの姿	<p>○あらゆる年代の市民が芸術に触れ、学ぶ意欲を満ちし、学んだことを生かしたり、発表したりすることができる場があるまちになっています。</p> <p>○こうした活動を通じて、生きがいや多世代とのつながりを持ち、豊かな人生を送る市民が増えています。</p>	
施策展開の基本的な考え方	<p>行政は、芸術に触れる機会や活動場所の確保、団体間の交流の促進、情報提供等の支援によって、市民が生涯学習活動に取り組みやすい環境づくりと自主的な活動の支援を行います。</p> <p>市民等は、芸術鑑賞や芸術活動を含めた多様な学習機会への積極的な参加や企画・運営への参画を通じて自ら学び、交流するよう努めます。</p>	
実現に向けた取組	<p>①市民が参加しやすい多様な学習機会の提供</p> <p>②市民による自主的な活動の育成・支援</p> <p>③活動拠点の整備</p>	
施策担当課・係	生涯学習課 社会教育係、文化・文化財係	
施策関係課・係		

I 施策の実施状況

1 施策全体の事業費

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費（千円）	145,391	138,314	153,914		
事務事業数	16	16	16		
うち、事務事業評価対象	15	15	15		

2 成果指標の達成状況

指標	単位	基準値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和3年度 中間目標	令和8年度 最終目標
生涯学習に関するイベント・市民講座実施回数〔年間〕	回	131	137	139	149			136	141
生涯学習に関するイベント・市民講座参加者数〔年間〕	人	23,700	19,750	20,528	21,646			24,200	24,700
月1回以上定期的に活動している生涯学習活動団体数〔年間〕	団体	60	89	71	73			65	70

3 施策の進捗状況

達成度	○ 概ね順調
達成度の判断根拠	<p>イベント・市民講座実施回数については、前年度より増加し、中間目標での達成率は約109.6%、最終目標での達成率は約105.7%となっており、イベント・市民講座参加人数についても前年度より増加し、中間目標での達成率が約89.4%、最終目標での達成率が約87.6%となっていることから、いずれについてもおおむね順調と考える。また、月1回以上定期的に活動している生涯学習活動団体数についても、中間目標での達成率が約112.3%、最終目標達成率が約104.3%となっていることから、おおむね順調であるとする。</p>
成果指標による現状分析	<p>・イベント、市民講座実施回数については、目標を超え順調である。また、参加者数についても目標に向け増加傾向にあり、新規イベントの積極的な企画・開催や広報面での取組強化の成果も着実にできていると考える。</p> <p>・生涯学習活動団体数については、年度により増減があるが、現状において既に最終目標値を超える結果となっており、順調に進んでいると考える。次年度以降もこれを維持するよう取組を行う。</p>

4 取組の状況と今後の方向性

① 市民が参加しやすい多様な学習機会の提供

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・音楽や美術等の芸術に触れる機会を確保するとともに、イベントや市民講座を継続して開催します。 ・専門知識や特技を持った市民、学校、市内の企業やNPO等の団体と連携し、文化財、高齢福祉等各種分野の取組を巻き込んで、イベントや市民講座の魅力向上や対象年齢の拡大を図ります。 ・イベントや市民講座は、できるだけボランティア等の地域の協力者を巻き込んで実施し、そのボランティアをきっかけに生涯学習活動に参加する人が増えるよう努めます。
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習に関するイベント・市民講座を149回開催し、R1年度については、中間目標値・最終目標値を超える結果となった。また、イベント、市民講座の参加者については中間目標に向け着実な進捗状況となっている ・昆虫の家、図書館、美術館では、ボランティア等の協力者を巻き込みイベントを実施しているが、他の事業についてはキャリア教育推進事業の一環である「子どもハローワーク」による市内小中学校児童生徒のボランティア参加にとどまっている。(図書館は読み聞かせ、昆虫の家、美術館はイベント時の応援や施設環境整備のボランティア)
主な課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ・イベントや講座の開催回数及び参加人数については、中間目標、最終目標を既に達成済み、また、達成していない指標については目標に向け順調に伸びている。今後も参加人数の目標を達成・維持するため、市民のニーズを的確に捕らえ、魅力あるイベントや市民講座を計画し開催するよう努める。 ・近隣市町村と連携を図り、その人材バンクも活用することで専門知識や特技を持った人材を活用し、イベントや市民講座の魅力向上や対象年齢の拡大を図りつつ、今後はR2年度末までに市独自の人材バンク整備も目指す。 ・ボランティアについては、昆虫の家、図書館についてはボランティアの協力を得た中でイベントを実施しており順調といえるが、子どもハローワークについては、児童生徒の参加も少ないので魅力あるアピール方法を考えなければならない。

② 市民による自主的な活動の育成・支援

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・自らの知識や特技を生かして市民講座を開きたい人、市民講座後も自主的に学習を継続したい人、地域で作品展を開きたい人等“活動したい人”を募って活動場所の紹介、仲間集めの助言、広報の手伝い等の支援を行います。 ・活動の目標ともなる成果発表の場や他団体とノウハウを共有する機会となる場を設ける等生涯学習団体が活動を続けやすい環境を整備します。 ・市民による様々な活動や講師等の情報をデータベース化し、市民が気になる活動を見つけ、参加しやすい環境を整えとともに、市民の参加や活動団体同士の交流を促すコーディネーターを配置して、ある時は参加者が主催者や講師となり、またある時は講師が運営を支える裏方となるような循環型の生涯学習社会の実現を目指します。
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育認定団体などに対して、文月コンサートや生涯学習フェスティバルなどを開催することで、成果発表の場、他の団体との連携・つながりの場の提供に加え、社会教育委員にも参画してもらい、団体相互の情報交換の場を提供し、団体活動の活性化と継続支援、環境整備を行なった。 ・新潟広域都市圏の連携事業で近隣市町村間でR3年度より講師等のデータベースを活用できるよう人材バンクの連携に向け取り組んでいる。
主な課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ・今後も生涯学習フェスティバルの開催を継続することで、団体の活動成果の発表の場を提供し、活動の活性化の支援を続けるが、その開催期間について他のイベント等の日程調整も難しくなり、長期化していく傾向にあることから、今後は開催期間を含めた新たな開催方法について検討の必要がある。 ・今後も社会教育委員にも参画してもらい各利用団体の代表が集まる機会を設け、情報交換などを行うことで各団体間の連携、つながりの場を提供し、団体活動の活性化支援を行う。

③ 活動拠点の整備

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習をはじめとする市民活動の拠点にふさわしい機能を確保するため、施設の老朽化対策の中で施設内容を充実させる建替えや改築、相乗効果を生み出す施設の集約化も考慮しながら適正配置等を検討します。
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した中央公民館、図書館の施設整備については、庁内プロジェクトチームにおいて検討を行うとともに、社会教育委員、図書館協議会委員、小・中・高・大学教諭等、公民館施設利用者、読み聞かせボランティアなどで構成される市民等参画した検討委員会を立ち上げ、検討委員会を3回、市民参加型ワークショップを3回、先進地視察を1回行い、両施設を併せた複合施設の整備について検討を行った。
主な課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ・今後も生涯学習複合施設について庁内での検討を継続するとともに市民との協働により、その概要をまとめることを目指す。 ・産業文化会館については、大規模改修を計画的に進める。老朽化及び耐用年数を超える部分の改修について、市民及び利用者に対し説明が必要である。 ・公民館施設等は、管理経費の削減に努めながら運営する。

5 施策の今後の方針

施策方針	○ 維持
施策方針に関する説明	ほとんどの事業が、その達成度から判断するとおおむね順調に進んでいることから、今後も最終目標の達成に向け継続して事業に取り組む。市民が参加しやすい多様な学習機会の提供を軸とし、重点を置きながら市民による自主的な活動の育成・支援も継続していく。あわせて新たな活動拠点として生涯学習複合施設の整備についても検討を重ねていく。

Ⅱ 施策を構成する事業等

事業 コード	事務事業名	R1 事業費		R2 当初予算額		達成度	施策目標 に対する 貢献	一次評価 今後の 方向性	二次評価 今後の 方向性	主な事業	担当課
			うち 一般財源		うち 一般財源						
150110	文化活動促進事業	62	30	78	36	○	○	③	③		生涯学習課
150111	陶芸研修所管理事業	2,373	1,609	2,444	1,556	○	○	③	③		生涯学習課
150211	公民館文化振興事業	1,648	1,519	3,720	2,711	◎	○	③	③		生涯学習課
150112	産業文化会館事業	63,686	33,660	84,601	28,773	◎	○	③	①	○	生涯学習課
150113	鉱物・陶芸館運営事業	6,529	5,332	6,874	5,498	○	△	③	③		生涯学習課
150114	胎内自然天文館運営事業	11,753	10,123	11,618	9,634	○	○	③	③		生涯学習課
150115	昆虫の森運営事業	10,159	3,712	10,408	3,351	○	○	③	③		生涯学習課
150116	市民講座学級事業	339	303	737	697	△	○	③	③		生涯学習課
150117	図書館管理事業	20,264	15,147	22,495	22,390	○	○	③	③		生涯学習課
150118	環境改善センター管理運営事業	12,053	7,038	38,293	5,319	○	○	③	③		生涯学習課
150119	一般経費中央公民館	8,394	7,991	9,059	8,642	○	○	③	③		生涯学習課
150120	一般経費黒川地区公民館	8,596	8,446	7,316	7,200	◎	○	③	③		生涯学習課
150121	乙地区交流施設管理運営事業	5,223	5,162	5,092	5,031	◎	○	③	③		生涯学習課
150210	社会教育振興事業	1,455	1,455	946	946	○	○	③	③		生涯学習課
150212	生涯学習フェスティバル事業	343	343	477	477	○	○	③	③		生涯学習課

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	150110		担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係				
事務事業名	文化活動促進事業		事業年度	令和元年度		会計区分	一般会計			
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大	15	生涯学習	予算科目	款	10	教育費
施策	5	生涯学習		中	01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供		項	06	社会教育費
				小	10	文化活動促進事業		目	04	公民館費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令			関連計画	胎内市教育振興基本計画		
	法令による義務付け			関連条例						

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	公民館まるごとクリスマスや文月コンサートなどの事業を通じて市民に文化活動の場を提供するとともに、参加者同士の交流の場とする。
主な実施内容	・公民館まるごとクリスマスの開催（12月） ・文月コンサートの実施（7月）
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	65	69	62	78	
国・県支出金	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	
その他	33	35	32	42	
一般財源	32	34	30	36	
人件費（千円）	401	412	420		
正(h) ※事業費	178	180	180		
臨時(h) ※事業費	88	92	92		
総事業費+人件費	466	481	482		
財源「その他」内訳	学級講座等参加費 32千円				
事業費の主な支出内容	消耗品費 42千円、講師謝礼 20千円				

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	①公民館まるごとクリスマス講座数 ②文月コンサート参加団体数	①公民館まるごとクリスマス講座数 ②文月コンサート参加団体数	①クリスマス開設講座数 ②文月コンサート参加団体数	①クリスマス開設講座数 ②文月コンサート参加団体数	①クリスマス開設講座数 ②文月コンサート参加団体数
	目標	①8講座 ②10団体	①8講座 ②10団体	①8講座 ②10団体	①8講座 ②10団体	①8講座 ②10団体
	実績	①9講座 ②8団体	①9講座 ②8団体	①9講座 ②10団体		
成果指標	名称	講座とコンサートの参加者数	講座とコンサートの参加者数	講座とコンサートの参加者数	講座とコンサートの参加者数	講座とコンサートの参加者数
	目標	500人	500人	500人	500人	500人
	実績	633人	495人	489人		
	目標比	126.6%	99.0%	97.8%		

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
達成度	◎	○	○		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	トータル参加者数は昨年度から若干減少したものの文月コンサートでは参加団体の増加がみられた。				

5 事業の点検項目

妥当性	事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか ○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い	○
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか ○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない	○
	類似した事業が実施されていないか ○：類似事業がない ×：類似事業がある	○
	住民等の参画、協働は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	実施
効率性	民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	×
	協働または民間への外部化が不可能な理由 事業規模が小さく民間への外部化によって負担が増加するため。	
	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か ○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要	△
	事業費や人件費に削減の余地はないか ○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり	○
単位コスト	受益者負担は事業コストに対して適正か ○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない	○
	算出方法 参加者1人あたりのコスト 事業費（一般財源）+人件費/参加者	
	実績 平成29年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度 令和3年度	684円 901円 920円

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

R1年度の文月コンサートでは前年度から参加団体が増加した。

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	③
課題及び今後の改善方法	・文月コンサートについては、出演団体が固定化しつつあるので、出演依頼を引き続き行い、参加者の増加につなげる。 ・音楽団体以外の団体が活動の成果を発表、披露する機会を作る。 また得た知識を家庭や地域へ持ち帰り還元させる意識作りに取り組む。 ・子どもたちが今、どのようなことに興味を持ち、関心を示しているのかを把握し教室のリニューアルにつなげる。

8 二次評価

今後の方向性	③
所見	

今後の方向性				
成果の方向性	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③	
	縮小	⑥		
	休廃止	⑦		
コスト投入の方向性	削減			
	縮小			
	維持			
	拡大			

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	150111		担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係		
事務事業名	陶芸研修所管理事業		事業年度	令和元年度	会計区分	一般会計		
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大 15	生涯学習	予算科目	款	10 教育費
施策	5	生涯学習		中 01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供		項	06 社会教育費
				小 11	陶芸研修所管理事業		目	07 陶芸研修所管理費
事務区分	法定受託事務		〇	根拠法令				
	法令による義務付け			関連条例	胎内市陶芸研修所条例	関連計画	胎内市教育振興基本計画	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	陶芸を通じて、芸術活動に親しんでもらうことを目的に陶芸講座を開催し、参加者同士の交流や親睦をはかる。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 陶芸講座の実施（年3回春・夏休み（親子）・秋） 陶芸作品展の開催 陶芸研修所維持管理
実施方法	市が直接実施+委託

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	2,005	2,012	2,373	2,444	
国・県支出金	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	
その他	681	666	764	888	
一般財源	1,324	1,346	1,609	1,556	
人件費（千円）	276	278	285		
正(h) ※事業費	150	150	150		
臨時(h) ※事業費	0	0	0		
総事業費+人件費	2,281	2,290	2,658		
財源「その他」内訳	材料費 508千円 参加費 255千円				
事業費の主な支出内容	陶芸講座指導委託料 1,722千円 消耗品費 306千円 燃料費166千円 光熱水費 149千円 修繕費 22千円				

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	陶芸講座回数	陶芸講座回数	陶芸講座回数	陶芸講座回数	陶芸講座回数
	目標	4回	4回	5回	5回	5回
	実績	4回	4回	5回		
成果指標	名称	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数
	目標	180人	180人	180人	180人	180人
	実績	134人	121人	158人		
	目標比	74.4%	67.2%	87.7%		

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
達成度	○	○	○		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	陶芸講座参加者数は目標に届かなかったが、維持管理の草刈を協同で行って親睦を図り、また、作品展期間中に交流会を行うなど改革改善を進めている。				

5 事業の点検項目

妥当性	事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか	○			
	○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い				
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか	○			
	○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない				
	類似した事業が実施されていないか	○			
	○：類似事業がない ×：類似事業がある				
効率性	住民等の参画、協働は可能か	△			
	○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済				
	民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か	○			
	○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済				
単位コスト	協働または民間への外部化が不可能な理由				
	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か	△			
	○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要				
	事業費や人件費に削減の余地はないか	○			
単位コスト	○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり				
	受益者負担は事業コストに対して適正か	△			
	○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない				
算出方法	参加者一人あたり収支（事業収入-総事業費（業務委託料除く））/参加者数				
実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	622.9円	1,247円	708.8円		

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

<ul style="list-style-type: none"> 陶芸研修所敷地管理を参加者と協同で草刈を実施 陶芸作品展期間内で交流や親睦をはかる場を企画 R1から学校で実施する陶芸学習授業を止め、親子を対象とした陶芸教室を開始した。（陶芸学習事業を統合） 受益者負担の見直しを実施（参加費 H29まで0円、H30から1,000円、R2から2,000円）

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	③
課題及び今後の対応方法	<p>現状、参加者の大半がリピーターを占めるため、新規の方からの参加意欲を掻き立てる周知を行い、陶芸の魅力を発信していく。市内、市外参加者からの参加費を増額し事業費軽減を見直す。また、親子を対象とした期間限定の陶芸教室を学校関係を通じて募集をかけ新たな取り組みとして行う。講座参加者による作品展と講師を招いた交流の場を企画し、継続していく。</p>

8 二次評価

今後の方向性	③			
所見	参加者にどの程度費用負担を求めるか、他市等とも比較検討する。			
成果の方向性	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③	
	縮小	⑥		
	休廃止	⑦		
	削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	150211		担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係				
事務事業名	公民館文化振興事業			事業年度	令和元年度		会計区分	一般会計		
基本政策	1	子育て・教育・学び		事業コード	大	15	生涯学習	款	10	教育費
施策	5	生涯学習	中		02	市民による自主的な活動の育成・支援		項	06	社会教育費
			小		11	公民館文化振興事業		目	04	公民館費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令			関連計画	胎内市教育振興基本計画	
	法令による義務付け		任意		関連条例					

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	市民が文化・芸術活動を発表する機会や親しむ機会を提供することにより、文化・芸術活動の振興を図る。
主な実施内容	・美術展覧会の開催 ・ジュニア美術展覧会の開催
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	1,787	1,645	1,648	3,720	
国・県支出金	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	
その他	168	150	129	1,009	
一般財源	1,619	1,495	1,519	2,711	
人件費（千円）	902	909	1,253		
正(h) ※事業費	490	490	660		
臨時(h) ※事業費 ○	40	40	50		
総事業費+人件費	2,689	2,554	2,901		
財源「その他」内訳	出品料 129千円				
事業費の主な支出内容	美術展運営委員等謝礼 360千円 美術展設営関係委託料 330千円 印刷製本費 293千円 消耗品費 212千円 各種大会等賞品 188千円 會津八一写真コンテスト共催負担金 80千円				

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	美展開催日数	美展開催日数	美展開催日数	美展開催日数	美展開催日数
	目標	4日間	4日間	4日間	4日間	4日間
	実績	4日間	4日間	4日間		
成果指標	名称	美展来場者数	美展来場者数	美展来場者数	美展来場者数	美展来場者数
	目標	2,100人	2,100人	2,100人	2,100人	2,100人
	実績	2,381人	2,872人	2,708人		
	目標比	113.4%	136.8%	129.0%		

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
達成度	◎	◎	◎		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	前年度の来場者数は下回ったものの目標は達成できた。来場者数が増えることにより市民の文化・芸術への関心が高まるとともに活動水準の向上が図られる。				

5 事業の点検項目

妥当性	事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか ○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い	○
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか ○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない	○
	類似した事業が実施されていないか ○：類似事業がない ×：類似事業がある	○
	住民等の参画、協働は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	実施
効率性	民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	×
	協働または民間への外部化が不可能な理由 芸術活動をする人口の減少と高齢化により関係団体への委託は困難	
	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か ○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要	○
	事業費や人件費に削減の余地はないか ○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり	○
単位コスト	受益者負担は事業コストに対して適正か ○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない	○
	算出方法 実績	

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

開催期間中に周辺道路にのぼり旗を設置し、来場者にPRした。出品の少ない部門については、初心者日本画教室などを開催した。

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	③
課題及び今後の対応	胎内市展は、市内で唯一の公募展（審査を行う）であり市民の文化・芸術活動を発表する機会であり創作活動のモチベーションアップにつながっている。しかし、作者の高齢化が著しく創作活動を続けることが困難になっている人もおり、創作活動を行う人が減少傾向にある。特に出品の少ない部門については、自主学习グループとして初心者日本画教室、彫刻講座など各公民館で活動して底辺拡大を目指している。来場者数は一定数いるが、胎内検定実行委員会の協力により市内園児の塗り絵や市内小学生のわたしのすきなたいないを展示することで子育て世代の来場者も増やしていきたい。令和2年度は市美術展覧会・ジュニア美術展覧会と併せて新潟県美術展覧会も開催する予定だったが、コロナウイルス感染症の影響でこれらの開催中止が決定した。翌年度の開催に向けて準備・改善を行う。

8 二次評価

今後の方向性	③																					
所見	今後の方向性	③																				
	成果の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>×</td> <td>④</td> <td>②</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td>⑤</td> <td>③</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td>⑥</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>⑦</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>	拡充	×	④	②	①	維持	×	⑤	③	×	縮小	×	⑥	×	×	休廃止	⑦	×	×	×
	拡充	×	④	②	①																	
	維持	×	⑤	③	×																	
縮小	×	⑥	×	×																		
休廃止	⑦	×	×	×																		
削減	縮小	維持	拡大																			
コスト投入の方向性																						

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	150112		担当課	生涯学習課	担当係	文化・文化財係		
事務事業名	産業文化会館事業		事業年度	令和元年度	会計区分	一般会計		
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大 15	生涯学習	予算科目	款 10	教育費
施策	5	生涯学習		中 01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供		項 06	社会教育費
				小 12	産業文化会館事業		目 05	産業文化会館費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令				
	法令による義務付け			関連条例	胎内市産業文化会館条例	関連計画	胎内市教育振興基本計画	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	・市民の生涯学習の推進及び文化振興と芸術意識の高揚を図り、心を豊かにすることを目的とし、自主事業を実施する。
主な実施内容	・会館自主事業の実施 ・会館維持管理
実施方法	市が直接実施＋委託

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	60,513	48,731	63,686	84,601	
国・県支出金	0	0	0	0	
地方債	13,600	7,100	23,500	42,000	
その他	6,179	6,322	6,526	13,828	
一般財源	40,734	35,309	33,660	28,773	
人件費（千円）	1,804	1,819	1,861		
正(h) ※事業費	980	980	980		
臨時(h) ※事業費	0	0	0		
総事業費＋人件費	62,317	50,550	65,547		
財源「その他」内訳	使用料3,579千円 入場料928千円 管理費負担金(商工会)1,039千円				
事業費の主な支出内容	施設整備工事 24,750千円 施設管理業務委託 13,952千円 光熱水費 7,524千円 舞台各種設備保守点検業務委託 4,312千円 空調衛生設備保守点検業務委託 3,498千円 自主事業公演委託 2,260千円 施設改修工事設計委託 1,404千円 修繕費1,143千円				

3 指標値の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数
	目標	310日	310日	310日	310日
	実績	308日	308日	309日	
成果指標	名称	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数
	目標	70,000人	70,000人	70,000人	70,000人
	実績	80,286人	71,245人	71,108人	
	目標比	114.7%	101.8%	101.5%	

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
達成度	◎	◎	◎		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	来場者数は目標を達成しているものの、昨年度より減少している。自主事業に関しては、予算も限られており、入場料も2,000円前後と低価格に設定しているため委託料と入場料収入のバランスが取れていない。				

5 事業の点検項目

事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか	○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い	○
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか	○
	類似した事業が実施されていないか	○
妥当性	○：類似事業がない ×：類似事業がある	
	住民等の参画、協働は可能か	×
	民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か	実施
効率性	○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要	△
	事業費や人件費に削減の余地はないか	○
	受益者負担は事業コストに対して適正か	○
単位コスト	算出方法	
	実績	

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

[H30]	・ホール系統の空調用冷却塔の取替工事・冷温水発生機改修工事を行った。
[R1]	・舞台照明調光操作卓更新工事を行った。
[R1 実施事業]	・NHK「わたしの尾瀬」写真展 ・チューリップ寄席 ・キャラメルマシーン スーパーサイエンスマジックショー ・ピアノデュオ新崎姉妹 世界音楽ワールドツアー2019夏 ・プラハ・チェロ・カルテット ・StarLights ゴスペルコンサート ・文化庁 優秀映画鑑賞推進事業 シネマパラダイス「名作映画上映会」2日間

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	③
課題	・築24年が経過し、建物および設備の老朽化が著しく、長寿命化計画をもとに、来年度には外壁のひび割れや屋上防水の劣化による雨漏り、建築基準法の改正に伴うホール天井の耐震化など、大規模改修を計画的に進める必要がある。 ・自主事業については、大人から子育て世代まで楽しめる事業を企画し、また来たいと思えるホールイベントを計画していく。 ・今後の管理運営に関しては、指定管理制度と併せ直営又は委託を精査する。

8 二次評価

今後の方向性	①																																
所見	令和3年度以降の管理について、他市等の施設の状況も確認し、業務委託、直営、指定管理など最善の方法を検討する。																																
今後の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>④</td> <td>②</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>⑤</td> <td>③</td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>⑥</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>⑦</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>拡大</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡充	④	②	①	維持	⑤	③		縮小	⑥			休廃止	⑦			削減				縮小				維持				拡大			
拡充	④	②	①																														
維持	⑤	③																															
縮小	⑥																																
休廃止	⑦																																
削減																																	
縮小																																	
維持																																	
拡大																																	
コスト投入の方向性																																	

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	150113		担当課	生涯学習課	担当係	文化・文化財係				
事務事業名	鉱物・陶芸館運営事業		事業年度	令和元年度		会計区分	一般会計			
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大	15	生涯学習	予算科目	款	10	教育費
施策	5	生涯学習		中	01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供		項	06	社会教育費
				小	13	鉱物・陶芸館運営事業		目	09	鉱物・陶芸館費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令						
	法令による義務付け			関連条例	胎内市粘土・鉱物体験資料館及び陶芸体験館条例	関連計画	胎内リゾート活性化マスタープラン			

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	収集した日本と世界の鉱物、粘土とそれに関連した資料の展示と解説のほか、鉱物・粘土の学習指導や天然石を素材にしたアクセサリ作りと陶芸の体験教室を実施する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 施設の運営管理 体験教室及び出張教室の実施 鉱物採集ツアーの実施
実施方法	市が直接実施+委託

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	7,627	7,990	6,529	6,874	
国・県支出金	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	
その他	1,239	1,338	1,197	1,376	
一般財源	6,388	6,652	5,332	5,498	
人件費（千円）	147	148	152		
正(h) ※事業費	80	80	80		
臨時(h) ※事業費	0	0	0		
総事業費+人件費	7,774	8,138	6,681		
財源「その他」内訳	入館料 382千円、アクセサリ体験 383千円、陶芸体験 212千円、売店収入 216千円				
事業費の主な支出内容	施設管理業務委託 4,808千円 光熱水費 617千円 消耗品費 284千円 施設管理保守点検委託 273千円 修繕費 199千円 売店材料 124千円 通信運搬費 63千円				

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数
	目標	207日	209日	105日	105日	105日
	実績	203日	203日	104日		
成果指標	名称	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数
	目標	4,400人	4,600人	3,000人	3,000人	3,000人
	実績	3,181人	2,906人	2,600人		
	目標比	72.3%	63.2%	86.7%		

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
達成度	△	△	○		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	目標値3,000人に対し実績は2,600人で、86.7%であった。前年度比では89.5%で、開館日数を半減したほどには減少は大きくなく、この点では効率が改善されたといえる。				

5 事業の点検項目

事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか	○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い	△
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか	△
	○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない	
類似した事業が実施されていないか	○：類似事業がない ×：類似事業がある	○
	住民等の参画、協働は可能か	△
	○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	
民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か	○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	実施
	協働または民間への外部化が不可能な理由	
	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か	△
事業費や人件費に削減の余地はないか	○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要	△
	○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり	
	受益者負担は事業コストに対して適正か	△
効率性	○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない	
	算出方法	①利用者一人当たりにかかるコスト（総事業費+人件費/利用者数） ②利用者一人当たりの収支（事業収入-（総事業費+人件費））/利用者数
単位コスト	実績	平成29年度 ①2,443.9円 ②-2,054.4円 平成30年度 ①2,800.4円 ②-2,340円 令和元年度 ①2,569.6円 ②-2109.2円 令和2年度 令和3年度

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

<ul style="list-style-type: none"> 常設展示を一部新設 企画展示を実施 開館日数減により施設管理委託料を削減（R1） 4月～11月に日を決めて、天然石・アクセサリ作り体験及び化石・鉱物解説案内を実施した。

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	③
課題及び今後の改善方法の対応	<ul style="list-style-type: none"> 利用状況に応じた開館日に見直して効率的な運営を行うことで、経費の削減を図った。令和元年度より開館日を土日・祝日及び夏休み期間のみに変更した。 様々な改善に取り組みつつあったものの、魅力的な展示への更新、積極的なPRなどを必要としている。鉱物採集ツアーの人気から一般市民の鉱物への関心、ニーズはあると思われる。 令和元年度からの開館日数減により、算出指標の目標値を105日、成果指標の目標値を3,000人とした。

8 二次評価

今後の方向性	③																																													
所見	令和3年度以降の施設管理について、業務委託と直営で行う場合を比較し、最善の方法を検討する。																																													
今後の方向性	<table border="1"> <tr> <td>成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>④</td> <td>②</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td></td> <td>維持</td> <td>⑤</td> <td>③</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> <td>⑥</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>休廃止</td> <td>⑦</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡大</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="5">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	成果の方向性	拡充	④	②	①		維持	⑤	③			縮小	⑥				休廃止	⑦				削減					縮小					維持					拡大				コスト投入の方向性				
成果の方向性	拡充	④	②	①																																										
	維持	⑤	③																																											
	縮小	⑥																																												
	休廃止	⑦																																												
	削減																																													
	縮小																																													
	維持																																													
	拡大																																													
コスト投入の方向性																																														

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	150114		担当課	生涯学習課	担当係	文化・文化財係				
事務事業名	胎内自然天文館運営事業		事業年度	令和元年度		会計区分	一般会計			
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大	15	生涯学習	予算科目	款	10	教育費
施策	5	生涯学習		中	01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供		項	06	社会教育費
				小	14	胎内自然天文館運営事業		目	10	文化教育交流促進施設費（胎内自然天文館）
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令						
	法令による義務付け			関連条例	胎内市文化教育交流促進施設条例	関連計画	胎内市教育振興基本計画			

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	農山村の自然・天体知識及び科学教育の啓発のため、館内の展示案内を行うほか、定期的に天体観察等の教育普及事業を行う。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自然や天文について紹介するとともに解説や学習指導・体験活動により自然保護に対する理解を図る。 ・望遠鏡及び双眼鏡を活用し、昼間・夜間の観望会や出前教室を行う。 ・施設管理をする。
実施方法	市が直接実施＋委託

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	11,326	11,104	11,753	11,618	
国・県支出金	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	
その他	1,248	1,838	1,630	1,984	
一般財源	10,078	9,266	10,123	9,634	
人件費（千円）	1,178	1,188	1,215		
正(h) ※事業費	640	640	640		
臨時(h) ※事業費	0	0	0		
総事業費＋人件費	12,504	12,292	12,968		
財源「その他」内訳	使用料 1,050千円 売店収入 580千円				
事業費の主な支出内容	施設管理業務委託料 6,837千円 施設管理保守点検委託 1,782千円 光熱水費878千円 施設整備工事 675千円 売店材料 416千円 消耗品費 327千円 修繕費238千円 講師等謝礼140千円 保険料121千円 通信運搬費 107千円				

3 指標値の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
産出指標	名称	営業日数	営業日数	開館日数	開館日数	開館日数
	目標	200日	200日	200日	200日	200日
	実績	203日	204日	207日		
成果指標	名称	入場者数	入場者数	利用者数	利用者数	利用者数
	目標	10,000人	10,000人	8,000人	8,000人	8,000人
	実績	6,009人	7,814人	6,816人		
	目標比	60.0%	78.0%	85.2%		

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
達成度	△	○	○		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	メディアに大きく取り上げられるような天体現象があると、利用者数が伸びる傾向にあるが、昨年は大きな天体現象が無く利用者数が伸び悩んだ。しかしながら目標値の修正により成果指標は上がっている。				

5 事業の点検項目

妥当性	事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか ○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い	○
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか ○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない	○
	類似した事業が実施されていないか ○：類似事業がない ×：類似事業がある	○
実施	住民等の参画、協働は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	実施
	民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	実施
効率性	協働または民間への外部化が不可能な理由	
	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か ○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要	○
	事業費や人件費に削減の余地はないか ○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり	○
単位コスト	受益者負担は事業コストに対して適正か ○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない	△
	算出方法（総事業費＋人件費）/入場者数 実績 平成29年度 2,109円 平成30年度 1,573円 令和元年度 1,899円 令和2年度 令和3年度	

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

<ul style="list-style-type: none"> ・屋外イベントは天候不順による当日キャンセルや、中止になるケースが多いため、天候に左右されない屋内イベント「フラワーアレンジメント講座」を予定した定員で開催でき、新規層にも天文館の存在をアピールできた。 ・天体写真教室や天文指導員養成講座などのイベントは大変好評であった。需要は一般市民というより一部のコアなファン向けではあるものの、市内ほか市外からも多くの参加があった。
<p>【R1 実施事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期・特別観望会の実施 ・望遠鏡づくり ・星空のヨガ ・大人の工作室 ・胎内星まつり特別公開 ・街角観望会

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	③
課題 改善後 対応	<ul style="list-style-type: none"> ・新潟県立自然科学館とのホームページ相互リンクや、SNS等での星空のライブ配信、星空画像配信を実施し、胎内の星空の魅力と天文館の存在をアピールし集客を図る。 また、ヨガイベントのように天文館で何かほかの活動を行いそれに付随して星を見るようなイベントや、親子向けの望遠鏡作りなどは人気がある為、魅力的なイベントを開催し、天文館に来館し、星に興味を持ってもらうきっかけを作る活動に力を入れたい。 ・悪天候で観望会ができない場合のことを考えて、あらかじめ好条件時にカメラやビデオで録画しておき、来館者に視聴してもらう。また、新型コロナウイルスの影響で開館できない場合は、YouTubeにより配信を行う。 ・ボランティアガイドに星の解説をしていただき、よりよいサービスを提供する。

8 二次評価

今後の方向性	③																													
所見	<table border="1"> <tr> <th colspan="4">今後の方向性</th> </tr> <tr> <td>拡充</td> <td>④</td> <td>②</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>⑤</td> <td>③</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>⑥</td> <td>⑦</td> <td>⑧</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>⑦</td> <td>⑧</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果の方向性</td> <td>削減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="4">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	今後の方向性				拡充	④	②	①	維持	⑤	③	④	縮小	⑥	⑦	⑧	休廃止	⑦	⑧	⑨	成果の方向性	削減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性			
	今後の方向性																													
拡充	④	②	①																											
維持	⑤	③	④																											
縮小	⑥	⑦	⑧																											
休廃止	⑦	⑧	⑨																											
成果の方向性	削減	縮小	維持	拡大																										
	コスト投入の方向性																													

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	150115		担当課	生涯学習課	担当係	文化・文化財係			
事務事業名	昆虫の森運営事業		事業年度	令和元年度	会計区分	一般会計			
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大 15	生涯学習	予算科目	款	10	教育費
施策	5	生涯学習		中 01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供		項	06	社会教育費
				小 15	昆虫の森運営事業		目	11	昆虫の森費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令					
	法令による義務付け			関連条例	胎内市昆虫の家条例	関連計画	胎内リゾート活性化マスタープラン		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	・昆虫に関する資料の展示と解説のほか、昆虫に関する学習指導や企画展、体験教室等を行う。
主な実施内容	・常設展の開催 ・企画展の開催 ・ふれあい体験の実施 ・昆虫教室の実施 ・市内学校への出張教室、他団体との共催による事業等を実施
実施方法	市が直接実施+委託

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	10,179	10,995	10,159	10,408	
国・県支出金	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	
その他	6,100	6,320	6,447	7,057	
一般財源	4,079	4,675	3,712	3,351	
人件費（千円）	3,564	3,593	3,676		
正(h) ※事業費	1,936	1,936	1,936		
臨時(h) ※事業費	0	0	0		
総事業費+人件費	13,743	14,588	13,835		
財源「その他」内訳	使用料 4,681千円 売店収入 1,642千円 昆虫教室参加費等 51千円				
事業費の主な支出内容	施設管理委託料 5,148千円 光熱水費 1,734千円 売店材料 945千円 消耗品費 659千円 修繕費 544千円 施設管理保守点検委託 362千円 使用料・賃借料 233千円 飼料費 120千円 手数料 114千円 燃料費 83千円				

3 指標値の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数
	目標	225日	226日	226日	226日
	実績	228日	225日	216日	
成果指標	名称	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数
	目標	24,000人	24,000人	20,000人	20,000人
	実績	18,087人	18,085人	17,956人	
	目標比	75.4%	75.4%	89.8%	

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
達成度	△	△	○		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	令和元年度から目標値を20,000人とし、実績は17,956人で、目標の89.8%となった。前年より減少しているのは新型コロナウイルスの影響で3月の開館を取りやめたためであるが、開館一日あたりの利用者数では前年より増加している。				

5 事業の点検項目

妥当性	事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか ○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い	○
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか ○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない	○
	類似した事業が実施されていないか ○：類似事業がない ×：類似事業がある	○
実施	住民等の参画、協働は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	△
	民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	実施
	協働または民間への外部化が不可能な理由	
効率性	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か ○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要	△
	事業費や人件費に削減の余地はないか ○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり	○
	受益者負担は事業コストに対して適正か ○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない	△
単位コスト	算出方法 ①利用者一人当たりのコスト（総事業費+人件費/利用者数） ②利用者一人当たりの収支（（事業収入-（総事業費+人件費））/利用者数）	
	実績	平成29年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度 令和3年度 ①759.82円 ①806.64円 ①770.49円 ②-422.6円 ②-457.2円 ②-411.5円

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

<ul style="list-style-type: none"> ・展示の改善、新規の生態展示を1種行った（水カマキリ）。 ・学校との連携、出張授業等について前年までの回数を維持（以上、いずれもコスト増加は無し） ・虫とりチャンピオン大会スペシャルin奥胎内を実施（H30実施費約500千円） ・日本自動車連盟（JAF）との契約で会員対象の入館料割引を実施。PRを強化【R1 実施事業】 ・春の昆虫を見つけよう ・チョウに餌をあげてください ・ギフトチョウの羽化体験 ・子どもの日カブト・スズムシ幼虫プレゼント ・毛虫に触ってみよう ・観察会トンボと水辺の昆虫観察会 ・夏休み特別展「巨大カブト・クワガタ大集合」 ・観察会「マツムシの声を楽しむ会」

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	③
課題及び今後の改善方法の対応	人気施設であり、市のPR、観光、教育いずれにも有用な施設と言えるが、様々な教育関連事業への協力依頼は増える傾向にある一方で、人員削減・管理委託の影響もあり展示内容は大きな変更がしにくい状態にある。PRや新しい企画などで利用者増を図る必要がある。また施設・設備の老朽化も大きな課題で、特に旧館の空調を更新する必要があり（コスト約12,600千円）、辺地債の利用を検討している。これまでの成果指標の目標値は、現状を考慮すると大きすぎると考えられ、20,000人とするのが妥当と思われたので、令和元年度目標より変更した。

8 二次評価

今後の方向性	③																									
所見	令和3年度以降の施設管理について、業務委託と直営で行う場合を比較し、最善の方法を検討する。																									
今後の方向性	<table border="1"> <tr> <td>成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>④</td> <td>②</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td></td> <td>維持</td> <td>⑤</td> <td>③</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> <td>⑥</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>休廃止</td> <td>⑦</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コスト投入の方向性</td> <td>削減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> </table>	成果の方向性	拡充	④	②	①		維持	⑤	③			縮小	⑥				休廃止	⑦			コスト投入の方向性	削減	縮小	維持	拡大
成果の方向性	拡充	④	②	①																						
	維持	⑤	③																							
	縮小	⑥																								
	休廃止	⑦																								
コスト投入の方向性	削減	縮小	維持	拡大																						

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	150116		担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係				
事務事業名	市民講座学級事業		事業年度	令和元年度		会計区分	一般会計			
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大	15	生涯学習	予算科目	款	10	教育費
施策	5	生涯学習		中	01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供		項	06	社会教育費
				小	16	市民講座学級事業		目	04	公民館費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令			関連計画	胎内市教育振興基本計画		
	法令による義務付け			関連条例						

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	市民が新しい知識と教養を深め、また交流をはかることを目的として高齢者大学を通年開催するほか、食に関する興味、関心を高めるため、わくわくクッキング講座を開催する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者大学の開催 ・わくわくクッキング講座の実施
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	347	414	339	737	
国・県支出金	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	
その他	25	10	36	40	
一般財源	322	404	303	697	
人件費（千円）	1,266	1,290	1,319		
正(h) ※事業費	672	680	680		
臨時(h) ※事業費	35	33	33		
総事業費+人件費	1,613	1,704	1,658		
財源「その他」内訳	学級講座等参加費 36千円				
事業費の主な支出内容	自動車借上料 147千円 消耗品費 71千円 講師謝礼 63千円 通信運搬費 42千円				

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	高齢者大学開催地区数	高齢者大学開催地区数	高齢者大学開催地区数	高齢者大学開催地区数	高齢者大学開催地区数
	目標	4地区	4地区	4地区	4地区	4地区
	実績	4地区	4地区	4地区		
成果指標	名称	高齢者大学延出席者数	高齢者大学延出席者数	高齢者大学延出席者数	高齢者大学延出席者数	高齢者大学開催地区数
	目標	1,450人	1,450人	1,450人	1,450人	1,450人
	実績	1,299人	1,421人	945人		
	目標比	89.5%	98.0%	65.1%		

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
達成度	○	○	△		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	8月の合同研修会は日程が悪く参加者数が減少したことやコロナ禍により、3月以降の閉講式等が開催できなかったため出席者数が減少したが、それを除けば2月までについては例年通りの実績で推移している。				

5 事業の点検項目

妥当性	事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか ○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い	○
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか ○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない	○
	類似した事業が実施されていないか ○：類似事業がない ×：類似事業がある	○
	住民等の参画、協働は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	×
効率性	民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	×
	協働または民間への外部化が不可能な理由 事業規模が小さく民間への外部化によって負担が増加するため。	
	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か ○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要	○
	事業費や人件費に削減の余地はないか ○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり	○
単位コスト	算出方法 高齢者大学学生1人あたりのコスト 事業費（一般財源）+人件費/延べ参加者数	
	実績 平成29年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度 令和3年度	1,222円 1,192円 1,716円

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

令和元年度は例年行っている事業に加えて「親子そば打ち道場」を開催し、昨年度に引き続き【食】への関心の継続を図った。

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	③
課題及び改善後の対応	・高齢者に偏った事業のみではなく、公民館利用者層の幅を広げるため、若年層をターゲットにした事業を企画する。

8 二次評価

今後の方向性	③
所見	

		今後の方向性			
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
		削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	150117		担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係				
事務事業名	図書館管理事業		事業年度	令和元年度		会計区分	一般会計			
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大	15	生涯学習	予算科目	款	10	教育費
施策	5	生涯学習		中	01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供		項	06	社会教育費
				小	17	図書館管理事業		目	06	図書館費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令	図書館法、図書館法施行令、図書館法施行規則					
	法令による義務付け			関連条例	胎内市図書館条例		関連計画	胎内市教育振興基本計画、胎内市子ども読書推進計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	図書館を運営し市民に図書資料や情報等の提供と学習の場を提供する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 資料収集、保存 資料貸出（一人5冊まで、2週間） 土、日曜日の開館 夜間開館時間の延長（火～金、19時まで開館） リクエスト制度 レファレンス 相互貸借（他館への貸出、他館からの借受） 団体貸出（小中学校等への貸出） 市内小中学校図書室の環境整備、読書指導等 施設の維持管理
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	19,470	21,211	20,264	22,495	
国・県支出金	5,000	5,000	5,000	0	
地方債	0	0	0	0	
その他	129	123	117	105	
一般財源	14,341	16,088	15,147	22,390	
人件費（千円）	6,620	6,990	6,485		
正(h) ※事業費	3,596	3,766	3,415		
臨時(h) ※事業費 ○	7,329	7,203	7,008		
総事業費+人件費	26,090	28,201	26,749		
財源「その他」内訳	図書館使用料35千円 コピー代15千円				
事業費の主な支出内容	管理補助員賃金 7,008千円 図書 3,742千円 光熱水費 2,320千円 図書館情報システム賃借料 2,177千円 図書館情報システム保守点検委託料 909千円 消耗品費 884千円 清掃業務委託料 475千円 施設管理委託料 442千円 施設整備工事 329千円				

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	年度末蔵書冊数	年度末蔵書冊数	年度末蔵書冊数	年度末蔵書冊数	年度末蔵書冊数
	目標	75,000冊	75,000冊	75,000冊	75,000冊	75,000冊
	実績	84,494冊	85,929冊	86,973冊		
成果指標	名称	年間貸出冊数	年間貸出冊数	年間貸出冊数	年間貸出冊数	年間貸出冊数
	目標	75,000冊	80,000冊	70,000冊	70,000冊	70,000冊
	実績	65,185冊	64,903冊	62,177冊		
	目標比	86.9%	81.12%	88.73%		

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
達成度	○	○	○		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	目標値の見直しを行ったことや新型コロナウイルス感染症の流行に伴う臨時休館の影響もあるため前年度との単純比較はできないが、単年度では9割近い達成率となった。				

5 事業の点検項目

妥当性	事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか	○			
	○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い				
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか	○			
	○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない				
	類似した事業が実施されていないか	○			
	○：類似事業がない ×：類似事業がある				
効率性	住民等の参画、協働は可能か	○			
	○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済				
	民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か	△			
	○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済				
	協働または民間への外部化が不可能な理由				
単位コスト	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か	○			
	○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要				
	事業費や人件費に削減の余地はないか	○			
	○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり				
	受益者負担は事業コストに対して適正か	-			
	○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない				
算出方法					
実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

子ども読書推進計画に基づき事業を実施しているほか、胎内市・新発田市・聖籠町定住自立圏の形成に係る協定による2市1町の図書館の相互利用が可能となった。また、30年度からは広域連携協定に基づき、新潟市の図書館とも相互利用が可能になった。（R1相互利用他市登録者数17人）

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	③
課題	令和元年度以降の成果指標における目標値については、市の人口減などの要因も踏まえ数値の見直しと再設定を行った。また令和元年度は実績値で大きな減少となっているが、これは新型コロナウイルス感染症の流行に伴う臨時休館の影響が大きい。今のところ、これまでの貸出冊数の減少傾向自体は変わったとは考えておらず、貸出利用者の中でも若い世代（特に中高生から20代の若年層）の利用増加を図るとともに、主要な利用層である30代以上についても図書館利用について働きかけを行い、利用者数の底上げをしていく必要性はあると考えている。これには情報発信や蔵書構成の見直しなどの努力も続ける必要がある。
改及	施設については、耐震補強を行ったものの施設の老朽化は進んでおり、また元々図書館として造られた建物ではないところから利便性・機能性も悪く、蔵書・書架の増加に伴い、全体的に手狭となっている。長期的観点での施設整備の検討（新築・移設・改修等）を行う。

8 二次評価

今後の方向性	③																										
所見	今後の方向性	③																									
	成果の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>×</td> <td>④</td> <td>②</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td>⑤</td> <td>③</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td>⑥</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>⑦</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> </table>	拡充	×	④	②	①	維持	×	⑤	③	×	縮小	×	⑥	×	×	休廃止	⑦	×	×	×		削減	縮小	維持	拡大
	拡充	×	④	②	①																						
	維持	×	⑤	③	×																						
	縮小	×	⑥	×	×																						
休廃止	⑦	×	×	×																							
	削減	縮小	維持	拡大																							
コスト投入の方向性																											

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	150118		担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係					
事務事業名	環境改善センター管理運営事業			事業年度	令和元年度		会計区分	一般会計			
基本政策	1	子育て・教育・学び		事業コード	大	15	生涯学習	予算科目	款	06	農林水産業費
施策	5	生涯学習			中	01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供		項	01	農業費
					小	18	環境改善センター管理運営事業		目	03	農村環境改善センター費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令						
	法令による義務付け		任意		関連条例	胎内市築地農村環境改善センター条例、胎内市役所諸証明交付所条例	関連計画	胎内市教育振興基本計画			

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	市民に諸証明交付等の行政サービスを提供するとともに、公民館事業の実施や交流活動を促進する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 施設の管理運営 諸証明交付 公民館事業の企画 図書の出し 地域住民の交流活動の場の提供
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	4,901	7,121	12,053	38,293	
国・県支出金	0	0	0	0	
地方債	0	0	5,000	32,400	
その他	15	9	15	574	
一般財源	4,886	7,112	7,038	5,319	
人件費（千円）	3,295	3,322	3,399		
正(h) ※事業費	1,790	1,790	1,790		
臨時(h) ※事業費	1,822	1,822	1,822		
総事業費+人件費	8,196	10,443	15,452		
財源「その他」内訳	使用料15千円				
事業費の主な支出内容	施設改修工事 7,453千円 管理補助員賃金 1,799千円 光熱水費 966千円 施設管理委託料 544千円 清掃業務委託料 396千円 警備業務委託料 183千円 通信運搬費 85千円				

3 指標値の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数
	目標	243日	243日	243日	243日
	実績	271日	290日	272日	
成果指標	名称	施設・図書利用者及び窓口利用者数	施設・図書利用者及び窓口利用者数	施設・図書利用者及び窓口利用者数	施設・図書利用者及び窓口利用者数
	目標	8,000人	8,000人	8,000人	8,000人
	実績	8,312人	8,024人	7,847人	
	目標比	103.9%	100.3%	98.0%	

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
達成度	○	○	○		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	総合的な指標では目標に届かなかった。				

5 事業の点検項目

妥当性	事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか ○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い	○
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか ○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない	○
	類似した事業が実施されていないか ○：類似事業がない ×：類似事業がある	○
	住民等の参画、協働は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	×
	民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	×
	協働または民間への外部化が不可能な理由 外部委託について検討したが、諸証明交付業務があるため不可能と判断されている。	
効率性	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か ○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要	○
	事業費や人件費に削減の余地はないか ○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり	○
	受益者負担は事業コストに対して適正か ○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない	△
	単位コスト 算出方法：利用者1人あたりのコスト 事業費（一般財源）+人件費/利用者数 実績：平成29年度 984円 平成30年度 1,300円 令和元年度 1,329円 令和2年度 令和3年度	

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

地域に親しまれる施設を目指しニーズを取り入れ、高齢者大学などの事業を行なった。利用者の声に合わせて、エアコン改修、屋上防水工事をを行い施設の修繕を行うことが出来た。

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	③
課題及び今後の改善方法	施設利用者が減少傾向にあり、現在行っている事業以外にも施設の魅力を生かした新たな企画を行い、施設利用の需要を増やす。市が指定する一次避難所として、施設の老朽箇所にも目を向け今後も修繕を行う。

8 二次評価

今後の方向性	③																																													
所見	4地区公民館の清掃等の業務委託について、可能なものは一括委託を検討するなど、経費削減に努める。																																													
今後の方向性	<table border="1"> <tr> <td>成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>④</td> <td>②</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td></td> <td>維持</td> <td>⑤</td> <td>③</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> <td>⑥</td> <td>⑦</td> <td>⑧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>休廃止</td> <td>⑦</td> <td>⑧</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>⑧</td> <td>⑨</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> <td>⑨</td> <td>⑩</td> <td>⑪</td> </tr> <tr> <td></td> <td>維持</td> <td>⑩</td> <td>⑪</td> <td>⑫</td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡大</td> <td>⑪</td> <td>⑫</td> <td>⑬</td> </tr> <tr> <td colspan="5">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	成果の方向性	拡充	④	②	①		維持	⑤	③	④		縮小	⑥	⑦	⑧		休廃止	⑦	⑧	⑨		削減	⑧	⑨	⑩		縮小	⑨	⑩	⑪		維持	⑩	⑪	⑫		拡大	⑪	⑫	⑬	コスト投入の方向性				
成果の方向性	拡充	④	②	①																																										
	維持	⑤	③	④																																										
	縮小	⑥	⑦	⑧																																										
	休廃止	⑦	⑧	⑨																																										
	削減	⑧	⑨	⑩																																										
	縮小	⑨	⑩	⑪																																										
	維持	⑩	⑪	⑫																																										
	拡大	⑪	⑫	⑬																																										
コスト投入の方向性																																														

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	150119		担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係				
事務事業名	一般経費中央公民館		事業年度	令和元年度		会計区分	一般会計			
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大	15	生涯学習	予算科目	款	10	教育費
施策	5	生涯学習		中	01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供		項	06	社会教育費
				小	19	一般経費中央公民館		目	04	公民館費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令	社会教育法					
	法令による義務付け			関連条例	胎内市公民館条例		関連計画	胎内市教育振興基本計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	学習と仲間作りの拠点施設として学習者、活動者にとって利用しやすい場を提供する。 また、主催事業の開催や、社会教育団体への支援を通じて、文化・芸術活動の振興を図る。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 施設の管理運営 公民館事業の企画 社会教育団体に対する支援、育成 各種団体事務局事務
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	8,512	8,234	8,394	9,059	
国・県支出金	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	
その他	337	409	403	417	
一般財源	8,175	7,825	7,991	8,642	
人件費（千円）	2,393	2,413	2,469		
正(h) ※事業費	1,300	1,300	1,300		
臨時(h) ※事業費	1,200	1,200	1,200		
総事業費+人件費	10,905	10,647	10,863		
財源「その他」内訳	中央公民館使用料 346千円 中央公民館敷地使用料 49千円				
事業費の主な支出内容	施設管理委託料 2,120千円 管理補助員賞金 1,861千円 光熱水費 1,018千円 施設整備工事 920千円 清掃業務委託料 471千円 消耗品費 321千円 修繕費 264千円 通信運搬費 228千円 施設用備品 127千円				

3 指標値の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
産出指標	名称	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数	
	目標	359日	359日	359日	359日	
	実績	359日	359日	330日		
成果指標	名称	中央公民館利用者数	中央公民館利用者数	中央公民館利用者数	中央公民館利用者数	
	目標	23,000人	24,000人	24,000人	24,000人	
	実績	22,069人	21,974人	20,611人		
	目標比	95.9%	91.5%	85.8%		

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
達成度	○	○	○		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	R1年度については、コロナ禍により3月の約1カ月間休館を余儀なくされたこと、利用団体の消滅、団体内の会員数の減少、また利用回数の減少などにより利用者数は減少傾向にあり目標を達成できていない。				

5 事業の点検項目

妥当性	事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか	○			
	○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い				
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか	○			
	○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない				
	類似した事業が実施されていないか	×			
	○：類似事業がない ×：類似事業がある				
効率性	住民等の参画、協働は可能か	×			
	○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済				
	民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か	×			
○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済					
単位コスト	協働または民間への外部化が不可能な理由	地域コミュニティの拠点である公民館は、公民館職員の専門性を活かした多様な学習支援が必要である。社会教育において重要な機関であり、行政による運営が望ましい。			
	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か	○			
	○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要				
	事業費や人件費に削減の余地はないか	○			
○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり					
算出方法	利用者1人あたりのコスト	事業費（一般財源）+人件費/利用者数			
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
478円	465円	507円			

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

利用の少ない中高年以下の世代を対象とした講座を開催し、公民館の新規利用者の増加に努めている。（親子そば打ち道場の開催）

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	③
課題及び改善後の対応	<ul style="list-style-type: none"> 魅力ある講座を開設し、公民館になじみのない市民に利用してもらうことにより利用者の増加につなげる。 施設の老朽化が進んでおり、利用者からも建て替えの要望が多く出ている。図書館も含めた複合的施設建設の検討を行う。

8 二次評価

今後の方向性	③																																
所見	4地区公民館の清掃等の業務委託について、可能なものは一括委託を検討するなど、経費削減に努める。																																
今後の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>④</td> <td>②</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>⑤</td> <td>③</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>⑥</td> <td>⑦</td> <td>⑧</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>⑦</td> <td>⑧</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>⑧</td> <td>⑨</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>⑨</td> <td>⑩</td> <td>⑪</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>⑩</td> <td>⑪</td> <td>⑫</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> <td>⑪</td> <td>⑫</td> <td>⑬</td> </tr> </table>	拡充	④	②	①	維持	⑤	③	④	縮小	⑥	⑦	⑧	休廃止	⑦	⑧	⑨	削減	⑧	⑨	⑩	縮小	⑨	⑩	⑪	維持	⑩	⑪	⑫	拡大	⑪	⑫	⑬
拡充	④	②	①																														
維持	⑤	③	④																														
縮小	⑥	⑦	⑧																														
休廃止	⑦	⑧	⑨																														
削減	⑧	⑨	⑩																														
縮小	⑨	⑩	⑪																														
維持	⑩	⑪	⑫																														
拡大	⑪	⑫	⑬																														
コスト投入の方向性																																	

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	150120		担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係					
事務事業名	一般経費黒川地区公民館			事業年度	令和元年度		会計区分	一般会計			
基本政策	1	子育て・教育・学び		事業コード	大	15	生涯学習	予算科目	款	10	教育費
施策	5	生涯学習	中		01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供			項	06	社会教育費
			小		20	一般経費黒川地区公民館			目	04	公民館費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令	社会教育法					
	法令による義務付け		任意		関連条例	胎内市公民館条例、胎内市就業改善センター条例		関連計画	胎内市教育振興基本計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	生涯学習を通じて教養を深めるとともに市民に交流を促進する場を提供する。また、地区公民館の企画実施、施設の維持管理と環境整備、利用に関する受付、貸館業務、図書貸出業務、社会教育団体への支援を行う。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・黒川展覧会の開催 ・ふるさと芸能発表会 ・ヤマボウシ大学の実施 ・施設管理
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	11,245	11,471	8,596	7,316	
国・県支出金	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	
その他	141	193	150	116	
一般財源	11,104	11,278	8,446	7,200	
人件費（千円）	902	965	4,439		
正(h) ※事業費	490	520	1,890		
臨時(h) ※事業費	5,072	4,282	1,000		
総事業費+人件費	12,147	12,436	13,035		
財源「その他」内訳	使用料 99千円				
事業費の主な支出内容	修繕費 2,192千円 光熱水費 1,747千円 施設管理委託料 863千円 施設補修工事 803千円 施設管理保守点検委託料 671千円 樹木等維持管理委託料 483千円 清掃業務委託料 362千円 図書304千円 空調設備保守点検委託料 297千円 消耗品費 238千円				

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数
	目標	359日	359日	359日	359日	359日
	実績	359日	359日	330日		
成果指標	名称	利用者数	利用者数	黒川地区公民館利用者数	黒川地区公民館利用者数	黒川地区公民館利用者数
	目標	8,000人	9,000人	9,000人	9,000人	9,000人
	実績	8,596人	9,694人	10,277人		
	目標比	107.5%	107.7%	114.2%		

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
達成度	◎	◎	◎		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	コロナウイルス感染症の影響で、止むを得ず一時的に臨時休館となったが、目標は達成できた。				

5 事業の点検項目

妥当性	事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか	○
	○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い	
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか	○
効率性	○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない	
	類似した事業が実施されていないか	×
	○：類似事業がない ×：類似事業がある	
	住民等の参画、協働は可能か	×
	○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	
	民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か	×
単位コスト	○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	
	協働または民間への外部化が不可能な理由	地域コミュニティの拠点である公民館は、公民館職員の専門性を活かした多様な学習支援が必要である。社会教育において重要な機関であり、行政による運営が望ましい。
	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か	△
	○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要	
単位コスト	事業費や人件費に削減の余地はないか	○
	○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり	
	受益者負担は事業コストに対して適正か	○
単位コスト	○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない	
	算出方法	利用者1人あたりのコスト 事業費（一般財源）+人件費/利用者数
単位コスト	実績	平成29年度 1,396.70円 平成30年度 1,262.95円 令和元年度 1,253.77円 令和2年度 令和3年度

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

事業の充実を図るべく、財源を確保し、施設の修繕を継続して行っている。
[R1]
社会教育係の一部職員を黒川地区公民館に移動し、受付等管理経費を削減（前年比約4,500千円減）。
黒川展覧会、ふるさと芸能発表会については、新規参加者の獲得に向けて高齢者大学やにこ楽胎内に呼びかけを行い、各1名ずつ増加した。

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	③
課題及び今後の改善方法	<p>築44年が経過し施設の老朽化が著しく、建物の維持管理にかかる経費が多くかかっている。館内の照明も薄暗く、利用者に不便をかけている状況である。順次修繕は行っているが、追い付いていない。また、今後は特定天井（講堂）の耐震化、高圧受変電設備、非常用発電機等の営繕が必要となり多額の費用がかかるため、今後の施設利用と施設営繕のバランスを取りながらどうするか検討する。</p> <p>また、黒川展覧会、ふるさと芸能発表会では、発表者数、来場者数ともに減少、高齢化しているため、今後の事業の方向性を検討する必要がある。</p>

8 二次評価

今後の方向性	③																																													
所見	4地区公民館の清掃等の業務委託について、可能なものは一括委託を検討するなど、経費削減に努める。																																													
今後の方向性	<table border="1"> <tr> <td>成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>④</td> <td>②</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td></td> <td>維持</td> <td>⑤</td> <td>③</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> <td>⑥</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>休廃止</td> <td>⑦</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡大</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="5">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	成果の方向性	拡充	④	②	①		維持	⑤	③			縮小	⑥				休廃止	⑦				削減					縮小					維持					拡大				コスト投入の方向性				
成果の方向性	拡充	④	②	①																																										
	維持	⑤	③																																											
	縮小	⑥																																												
	休廃止	⑦																																												
	削減																																													
	縮小																																													
	維持																																													
	拡大																																													
コスト投入の方向性																																														

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	150121		担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係					
事務事業名	乙地区交流施設管理運営事業			事業年度	令和元年度		会計区分	一般会計			
基本政策	1	子育て・教育・学び		事業コード	大	15	生涯学習	予算科目	款	10	教育費
施策	5	生涯学習	中		01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供			項	06	社会教育費
			小		21	乙地区交流施設管理運営事業			目	13	乙地区交流施設費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令						
	法令による義務付け		任意		関連条例	胎内市乙地区交流施設条例	関連計画	胎内市教育振興基本計画			

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	市民に諸証明交付等の行政サービスを提供するとともに、公民館事業の実施や交流活動を促進する。
主な実施内容	施設の管理運営及び諸証明交付や公民館事業の企画実施、図書の貸出を行い、地域住民の交流活動の場を提供。
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	4,649	4,648	5,223	5,092	
国・県支出金	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	
その他	125	67	61	61	
一般財源	4,524	4,581	5,162	5,031	
人件費（千円）	5,084	5,141	5,223		
正(h) ※事業費	1,900	1,900	1,900		
臨時(h) ※事業費	1,900	1,900	1,900		
総事業費+人件費	9,733	9,789	10,446		
財源「その他」内訳	使用料 55千円				
事業費の主な支出内容	管理補助員賃金 1,834千円 光熱水費 924千円 施設管理保守点検委託料 543千円 清掃業務委託料 247千円 修繕費 230千円 施設管理委託料 194千円 通信運搬費 132千円 火災保険料 100千円				

3 指標値の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数
	目標	243日	243日	243日	243日
	実績	273日	278日	270日	
成果指標	名称	施設利用者数	施設利用者数	施設・図書利用者及び窓口利用者数	施設・図書利用者及び窓口利用者数
	目標	7,000人	8,000人	8,000人	8,000人
	実績	10,769人	9,503人	10,063人	
	目標比	153.8%	118.8%	125.8%	

4 達成度

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
達成度	◎	◎	◎		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	定期利用団体が増加したほか会合やカラオケでの利用が多く人数が増加した。				

5 事業の点検項目

妥当性	事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか	○
	○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い	
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか	○
	○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない	
	類似した事業が実施されていないか	○
	○：類似事業がない ×：類似事業がある	
効率性	住民等の参画、協働は可能か	×
	○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	
	民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か	×
	○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	
協働または民間への外部化	外部委託について検討したが、諸証明交付業務があるため不可能と判断されている。	
単位コスト	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か	△
	○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要	
	事業費や人件費に削減の余地はないか	○
	○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり	
受益者負担は事業コストに対して適正か	△	
○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない		
算出方法	利用者1人あたりのコスト 事業費（一般財源）÷人件費/利用者数	
実績	平成29年度 904.36円 平成30年度 1030.1円 令和元年度 1021.8円 令和2年度 令和3年度	

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

市民が利用しやすい施設としての運用を心掛け、子どもクッキング教室などの子ども向けイベントの開催するなど、ニーズを取り入れた事業を実施した。

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	③
課題	定期利用団体は増えてきたが、ごく少数での夜間利用など光熱水費や人件費に見合わないような利用が多い。使用料について、一部の利用者からは、料金が4時間単位であるため、2時間程度の延長の場合は1時間ごとの延長料金を支払うことが出来る様にしてほしいという要望があるが、事務処理の複雑化や他の他の公民館等使用料形態とのバランスもあるため難しい問題となっている。 市民講座については、アンケートの結果などを基にニーズに即したイベントを計画し、飽きられないように継続する。

8 二次評価

今後の方向性	③																								
所見	4地区公民館の清掃等の業務委託について、可能なものは一括委託を検討するなど、経費削減に努める。また、利用料金について冷暖房費の負担などの受益者負担の見直しを検討する。																								
今後の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>④</td> <td>②</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>⑤</td> <td>③</td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>⑥</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>⑦</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="4">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	拡充	④	②	①	維持	⑤	③		縮小	⑥			休廃止	⑦			削減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性			
拡充	④	②	①																						
維持	⑤	③																							
縮小	⑥																								
休廃止	⑦																								
削減	縮小	維持	拡大																						
コスト投入の方向性																									

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	150210		担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係				
事務事業名	社会教育振興事業			事業年度	令和元年度	会計区分	一般会計			
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大	15	生涯学習	予算科目	款	10	教育費
施策	5	生涯学習		中	02	市民による自主的な活動の育成・支援		項	06	社会教育費
				小	10	社会教育振興事業		目	01	社会教育総務費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令	社会教育法					
	法令による義務付け			関連条例	胎内市社会教育委員条例ほか		関連計画	胎内市教育振興基本計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	社会教育委員の委嘱により、市民のニーズに沿った社会教育関係事業の企画や有効性の検討、また、社会教育関係団体の支援により生涯学習の振興を図る。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育関係団体の育成、支援、補助金交付 社会教育関係事業等の検討、助言、調査研究
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	1,013	726	1,455	946	
国・県支出金	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	
一般財源	1,013	726	1,455	946	
人件費（千円）	129	128	133		
正(h) ※事業費	70	60	70		
臨時(h) ※事業費	0	20	0		
総事業費+人件費	1,142	854	1,588		
財源「その他」内訳	国民文化祭胎内市実行委員会負担金 643千円 消耗品費 320千円 社会教育団体補助金 200千円 社会教育委員報酬130千円 社会教育活動出場激励費 70千円				
事業費の主な支出内容					

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	社会教育委員会開催回数	社会教育委員会開催回数	社会教育委員会開催回数	社会教育委員会開催回数	社会教育委員会開催回数
	目標	3回	3回	3回	3回	3回
	実績	3回	3回	3回		
成果指標	名称	社会教育認定団体数	社会教育認定団体数	社会教育認定団体数	社会教育認定団体数	社会教育認定団体数
	目標	44団体	44団体	44団体	44団体	44団体
	実績	42団体	41団体	43団体		
	目標比	95.5%	93.2%	97.7%		

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
達成度	○	○	○		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	成果指標については目標を概ね達成しており、今後も維持向上に努める。				

5 事業の点検項目

妥当性	事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか ○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い	○				
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか ○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない	○				
	類似した事業が実施されていないか ○：類似事業がない ×：類似事業がある	○				
	住民等の参画、協働は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	△				
	民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	×				
	協働または民間への外部化が不可能な理由 社会教育委員は教育委員会が委嘱するため、また、負担金・補助金交付事務のため民間への委託は不可能である。					
	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か ○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要	○				
効率性	事業費や人件費に削減の余地はないか ○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり	○				
	受益者負担は事業コストに対して適正か ○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない	-				
	単位コスト	算出方法	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績					

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

市民の意見を事業に反映させるため、社会教育委員からの意見を取り入れ、また、事業の運営等にもかかわってもらいながら、社会教育団体同士の情報交換や交流を図る事業を行なっている。

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	③
課題 改及 改今 善後 方 法 対 応	市民一人ひとりのニーズに合わせた社会教育活動の活性化が求められているため、ニーズを把握し、それを反映させた事業を企画する必要がある。アンケート調査の実施等によりニーズを把握するとともに、社会教育委員に事業の運営等に参加してもらうことで事業に対する意見いただき、それらを合わせ事業に反映させることで社会教育の振興を図る。補助金に関しては、活用団体が減少しているため、これまで以上に各団体への制度の周知を図ると共に交付基準を分かりやすく明確に示すことが必要である。

8 二次評価

今後の方向性	③				
所見	文化団体等への補助について、必要性などの検証を行い、過剰な補助とならないよう、交付要綱の見直しを検討し、交付基準が明確になるようにする。				
成果の方向性	今後の方向性	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③		
	縮小	⑥			
	休廃止	⑦			
	削減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	150212		担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係				
事務事業名	生涯学習フェスティバル事業			事業年度	令和元年度		会計区分	一般会計		
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大	15	生涯学習	予算科目	款	10	教育費
施策	5	生涯学習		中	02	市民による自主的な活動の育成・支援		項	06	社会教育費
				小	12	生涯学習フェスティバル事業		目	02	生涯学習推進費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令				関連計画	胎内市教育振興基本計画	
	法令による義務付け			関連条例						

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	11月を「生涯学習強調月間」として、市民の日々の生涯学習の成果を発表する場を提供するとともに、学習活動への参加を促進し、生涯学習の振興を図る。
主な実施内容	参加団体を実行委員会を組織し、期間中に行われる文化、芸術、産業、スポーツなど、市民参加の生涯学習イベントを産業文化会館を中心とした市内各施設で開催する。
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	428	423	343	477	
国・県支出金	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	
一般財源	428	423	343	477	
人件費（千円）	2,393	2,413	2,469		
正(h) ※事業費	1,300	1,300	1,300		
臨時(h) ※事業費	0	0	0		
総事業費+人件費	2,821	2,836	2,812		
財源「その他」内訳	印刷製本費 117千円 職員手当等106千円 手数料56千円				
事業費の主な支出内容					

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	フェスティバル開催日数	フェスティバル開催日数	フェスティバル開催日数	フェスティバル開催日数	フェスティバル開催日数
	目標	20日間	20日間	20日間	20日間	20日間
	実績	20日間	18日間	20日間		
成果指標	名称	来場者数	来場者数	来場者数	来場者数	来場者数
	目標	7,000人	7,000人	7,000人	7,000人	7,000人
	実績	8,327人	8,394人	8,752人		
	目標比	119.0%	119.9%	125.0%		

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
達成度	○	○	○		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	生涯学習の日ごろの成果を発表する場として、大変良い機会となっている。				

5 事業の点検項目

妥当性	事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか ○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い	○			
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか ○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない	○			
	類似した事業が実施されていないか ○：類似事業がない ×：類似事業がある	○			
実施	住民等の参画、協働は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	実施			
	民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	×			
効率性	協働または民間への外部化が不可能な理由				
	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か ○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要	△			
	事業費や人件費に削減の余地はないか ○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり	○			
単位コスト	受益者負担は事業コストに対して適正か ○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない	○			
	算出方法				
実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

新規参加団体の獲得に向けて、R1年度はポスターなどを使っての参加団体の募集を行った。R1年度は新たに1団体増え、37団体が参加した。

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	③
課題 改及 革び 改今 善後 方の 法対 応・	生涯学習フェスティバルの開催期間は原則、産業文化会館を貸切で使用できることにはなっているが、実際は市の事業を優先しなければならない、また季節柄イベントが多いことで、土日の日程の確保が難しく、20日間という開催期間となっている。他市町村では公民館祭りなどのほかのイベントに内容を分散してフェスティバル自体を1～2日に収めているところもあるので、当市でも日程確保の問題や事務的負担なども考慮し、開催期間の短縮を検討する必要があると考える。 また、今後、フェスティバルの実施にあたって各参加団体に対し一層の協力を促し、市民と行政が一体となってフェスティバルが開催できるよう取り組む。

8 二次評価

今後の方向性	③			
所見	開催期間や参加団体の負担等について検討する。			
成果の方向性	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③	④
	縮小	⑥	⑦	⑧
	休廃止	⑦	⑧	⑨
		削減	縮小	維持
コスト投入の方向性				